

県内企業景気動向調査報告（2022年4～6月期）

今期の「業況判断」は全業種で上昇するも、来期は再び下降する見通し

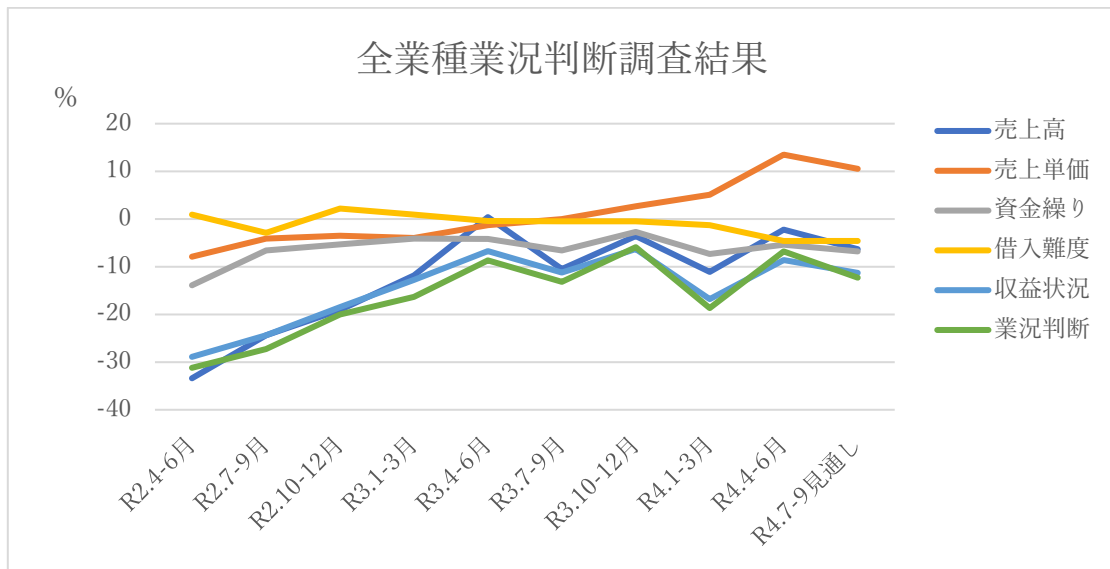
調査対象 鳥取県内企業（鳥取県下4商工会議所の調査による）

回収数 113社【製造業34社、非製造業79社（建設業22社、卸売業18社、小売業21社、サービス業18社）】

<今期・来期の状況>

全業種における今期の状況は「売上高」「資金繰り」「収益状況」「業況判断」の5つの項目で前期よりも上昇している。最も上昇を示したのは「業況判断」で、前期から11.9ポイント上昇した。業種別の「業況判断」では、製造業が前期から4.4ポイント、非製造業が12.4ポイントの上昇を示した。非製造業は全ての業種で上昇傾向を示しており、最も上昇が大きかったのは小売業で、前期から22.2ポイントの上昇となっている。

来期の見通しについては、「売上高」「資金繰り」「収益状況」「業況判断」の4つの項目で下降する見通しとなっており、「売上高」では4.1ポイント、「資金繰り」では1.4ポイント、「収益状況」では2.7ポイント、「業況判断」では最も大きい5.5ポイントを示した。業種別の「業況判断」では卸売業とサービス業以外の業種で下降の見通しとなり、最も下降が大きかったのは小売業の14.2ポイントであった。



業種	前年同期比*()内は2021.4～6月期の数字						末期(2022.7～9期)見通し*()内は前年同期の数字						
	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	
全産業合計	113	-22 (0.4)	135 (-1.3)	-54 (-4.2)	-46 (0.9)	-66 (-6.7)	-68 (-8.7)	-63 (-5.0)	105 (0.9)	-68 (-7.2)	-46 (0.9)	-113 (-8.0)	-123 (-9.3)
製造業	34	2.9 (15.4)	11.8 (0.0)	-10.3 (-2.6)	-5.9 (-1.3)	-5.9 (-2.6)	-5.9 (-6.5)	4.5 (7.7)	20.6 (0.0)	-11.8 (-9.0)	-10.3 (-1.3)	-7.4 (-1.3)	-10.3 (-5.3)
非製造業	79	-4.4 (-6.7)	14.3 (-1.9)	-3.3 (-5.0)	-4.0 (2.0)	-9.8 (-8.7)	-7.3 (-9.8)	-10.9 (-11.1)	5.9 (1.3)	-4.6 (-6.3)	-2.0 (2.0)	-13.0 (-11.2)	-13.2 (-11.3)
(建設業)	22	-16.0 (-18.8)	-4.8 (-6.3)	4.6 (0.0)	2.4 (0.0)	-13.7 (-19.6)	-7.2 (-16.7)	-13.7 (-20.9)	-4.8 (-2.1)	0.0 (-4.2)	2.4 (0.0)	-18.2 (-20.9)	-11.9 (-21.8)
(卸売業)	18	8.4 (5.6)	27.8 (0.0)	0.0 (-2.8)	0.0 (2.8)	-13.9 (-2.8)	-20.6 (-5.6)	8.9 (-8.9)	17.7 (2.8)	-2.8 (-2.8)	0.0 (2.8)	-5.6 (-5.6)	-11.8 (-5.6)
(小売業)	21	-14.3 (-11.9)	21.4 (0.0)	-12.5 (-7.2)	-16.7 (2.5)	-16.7 (-14.3)	-9.6 (-9.5)	-31.0 (-22.5)	9.6 (0.0)	-15.0 (-7.5)	-7.1 (2.5)	-23.8 (-20.0)	-23.8 (-22.2)
(サービス業)	18	8.4 (2.6)	14.7 (0.0)	-5.9 (-11.1)	0.0 (3.2)	9.4 (5.3)	8.8 (-5.3)	-2.8 (7.9)	2.9 (5.3)	0.0 (-11.6)	-3.2 (3.2)	0.0 (5.3)	-3.0 (0.0)

<直面している経営上の問題点>

- 1位：原材料・仕入価格上昇 (26.62%)
- 2位：消費・需要の停滞 (13.31%)
- 3位：経費の増加 (12.01%)
- 4位：売上・受注の減少 (11.69%)
- 5位：人手不足 (9.74%)

<業種別の問題点等>

- ◆建設業

- ・民間建築には相応の引き合いはあるが、土木工事の公共工事発注が県東部においては厳しい環境である。

- ◆製造業

- ・各種値上げの状況は続いており良くない状況です。それに追い打ちをかけるようにメディアは「値上げの夏」なんて言葉を使って報道してしまっています。当然、消費者のマインドは下がり、先延ばしにする買い物もでできます。出口が見えない状況です。

- ◆卸売業

- ・コスト増を販売価格には転嫁することが厳しい

- ◆小売業

- ・円安による影響が仕入れに大きく反映されてきた。売価にもなかなか転嫁できず困惑している

- ◆サービス業

- ・コロナの影響から脱出できておらず、人手不足も深刻な状況です。1件あたりの客数も減少傾向で労働生産性は悪化したままです。引き続きの支援をお願いします。原材料・光熱費の上昇も重たい課題です。